

## 2026年度農芸化学専攻 受験者各位

農芸化学専攻の受験者に対し、以下に示す要領で口述試験を行う。

本学で卒業研究を行っている受験者は以下の課題1について、それに該当しない受験者は受入教員と相談の上、課題1か2を選択してプレゼンテーションしなさい。

### <口述試験課題>

1. あなたが行ってきた卒業論文の背景、進行状況および展望について論じなさい。
2. 2023年以降に発表された学術論文のうち、農芸化学分野に関する論文1報を取り上げ、発表しなさい。ただし、発表する学術論文(Full Paper)は以下に示す学術雑誌から選択すること。また、与えられた時間内に該当論文の要旨を説明することが重要であり、必要に応じて図表の一部を割愛して説明してもよい。
  - 1) American Journal of Physiology
  - 2) Analytical Chemistry
  - 3) Applied and Environmental Microbiology
  - 4) Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry
  - 5) Cell
  - 6) Geoderma
  - 7) Journal of Agricultural and Food Chemistry
  - 8) Journal of Bacteriology
  - 9) Journal of Biological Chemistry
  - 10) Journal of Nutrition
  - 11) Journal of Organic Chemistry
  - 12) Journal of Soil Science
  - 13) Journal of the American Chemical Society
  - 14) Molecular Microbiology
  - 15) Nature
  - 16) Nucleic Acids Research
  - 17) Phytochemistry
  - 18) Plant & Cell Physiology
  - 19) Plant Physiology
  - 20) Plant and Soil
  - 21) Science
  - 22) The Plant Cell
  - 23) The Plant Journal

### <発表時間と発表方法>

1. 口述試験時間は20分とする。はじめの8分間は、課題について作成したPDFファイル(例:Power Pointなどプレゼンテーションソフトで作成したファイルをPDF化したもの)に基づいて、パソコンを使ってプレゼンテーションを行う。残りの12分間は質疑応答の時間とする。口述試験会場にはプレゼンテーションに用いるPDFファイル(USBメモリ)のみ持ち込むことが出来る。
2. 受験者は1時限の英語の試験開始前に口述試験の発表要旨(A4版用紙1枚、1,000字以内、ワープロ使用)を試験監督者に提出する。紙面の1/4以下のスペースで、自身で作成した図や表(白黒印刷で鮮明な図)を入れてもよい。発表要旨には受験番号、氏名および発表課題名を記すこと。なお課題2を選択した受験者は選択した論文のコピー1部を要旨と共に提出する。